

世界連邦宣言
いま、一つの世界を
自治体協新聞

発行
世界連邦宣言自治体
全国協議会
(事務局=京都府綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL (0773) 42-4217
FAX (0773) 42-4905

ご利用ください

世界連邦推進事業交付金制度

当協議会では、加盟自治体等が行う世界連邦推進事業に対する交付金制度を平成23年度に創設しています。

対象となるのは、恒久平和達成のための世界連邦主義を普及し、自治体が連携して世界平和に寄与するという当協議会の目的に沿った事業です。原則として、「世界連邦」を標榜し、この交付金を受けてい

る旨を表示していること、他の補助金等を受けていないことなどの要件があります。

交付金の額は、交付対象経費の10分の10以内で限度額は原則として50万円となっています。

また、事業実施年度の前年12月末までに交付申請を行う必要があります。

なお、この交付金の財源は、

29年度総会 東京都三鷹市で開催

当協議会の平成29年度総会は、8月4日(金)午後

に東京都三鷹市の三鷹産業プラザで開催する予定で準備を進めています。

平成29年度は、任期2年の役員改選期に当たり、総

会にて承認・決定します。

加盟自治体の多数のご出席をお願いいたします。

なお、直近10か年の総会開催自治体は表1のとおりです。現在、当協議会では、平成30年度以降の総会開催候補地を募っております。

事務局へご連絡をお待ちしております。

表1 直近10か年の総会開催自治体

年度	開催自治体名
平成19年度	石川県金沢市
平成20年度	東京都小金井市
平成21年度	石川県金沢市
平成22年度	京都府綾部市(会場は京都市)
平成23年度	京都府綾部市(会場は京都市)
平成24年度	東京都武蔵野市
平成25年度	静岡県焼津市
平成26年度	広島県広島市(災害のため中止)
平成27年度	東京都小金井市
平成28年度	京都府宇治市



活用事業① 中東和平プロジェクトin高野(和歌山県高野町:平成28年度)

全国の自治体にご協力いただいている「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」に寄せられた浄財の一部などを充てています。

制度創設後、平成28年度までの6年間で、3回の中東和平プロジェクト事業(京都府京丹後市、静岡県静岡市、和歌山県高野町)のほか、4自



活用事業② 武蔵野市青少年平和交流派遣事業(東京都武蔵野市:平成27年度)

治体の世界連邦推進事業に交付しました。

各自自治体におかれましても、この交付金制度の活用をご検討いただき、世界連邦施策の積極的な推進に取り組みられることを期待しています。

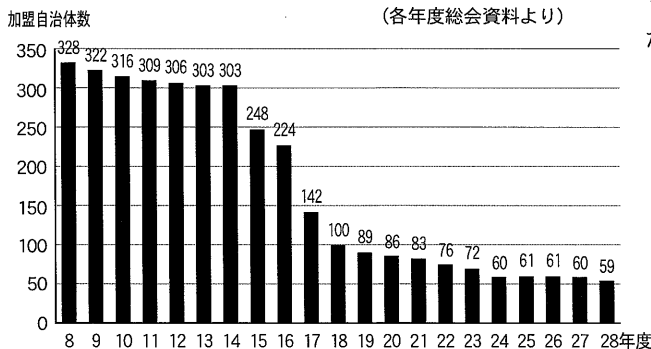
当協議会への 加盟促進にご協力を!

当協議会の加盟自治体数は、平成28年度総会時点で59団体となっています。平成の大合併などの影響を受け、平成8年度の328団体から20年間で約6分の1となりました。

事務局では、1つでも多くの自治体に当協議会に加盟いただき、ともに活動を進めていきたいと考えています。

加盟自治体によるお声掛け

グラフ1 当協議会の加盟自治体数の推移(各年度総会資料より)



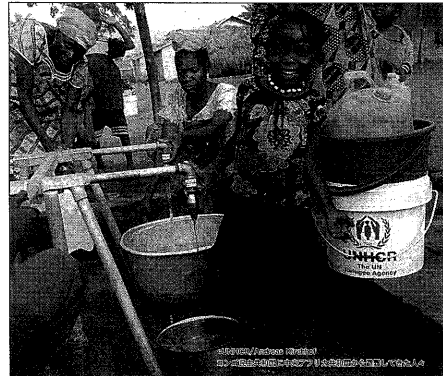
など、関係団体の皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

◇新規加盟自治体のご紹介
岡山県瀬戸内市

平成28年度から岡山県瀬戸内市に新たに当協議会に加盟いただきました。

同市は、瀬戸内海に面した温暖な気候に加え、刀剣・人形劇など歴史・文化資源に溢れたまち。平成16年11月に窓町、邑久町、長船町の3町が合併して誕生しました。旧3町の「世界連邦平和都市宣言」を受け、平成27年11月に瀬戸内市として同宣言をされました。

自治体職員1人100円募金 引き続き受付



世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金募集

世界連邦宣言自治体全国協議会では、「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」活動を展開し、世界連邦宣言を行った自治体をはじめ、趣旨にご賛同いただける全国の自治体の職員の方々に呼びかけています。お寄せいただいた募金は、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)やUNICEF(ユニセフ=国連児童基金)を通じ、難民や病氣・貧困に苦しむ子どもたちの救済などに役立てられていきます。また、中東和平プロジェクトや世界連邦・平和推進事業などの取組にも活用されます。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

世界連邦宣言自治体全国協議会 (事務局：京都府綾部市)

当協議会は、難民や病氣・貧困に苦しむ子どもたちの救済などに役立てようと、中核事業の1つとして「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」を昭和61年から毎年行っています。

平成27年度には155団体から約600万円の寄附をお寄せいただき、国連UNHCR協会と日本ユニセフ協会への寄託や中東和平プロジェクトをはじめとする世界連邦・平和推進事業に充当するため基金造成を行いました。平成28年度もこれまでに、多くの自治体から積極的なご

協力をいただいております、厚くお礼申し上げます。

全国ポスター・作文コンクール 2750点の応募

世界連邦運動協会は、「第45回世界連邦推進全国小中学生ポスター・作文コンクール」を開催。次代を担う小・中学生を対象として平和の尊さを認識し、世界連邦についての理解を深めるとともに、平和教育に資することを目的としています。今年も、全国からポスター11787点、作文963点、合計2750点の応募

一方で、その額は年々減少傾向にあり、財源の活用が難しい状況であることも事実です。こうしたことから当協議会では、3月末までとしておりました同募金の期限を延長して受け付けを行います。趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

塩浜修事務局長 綾部市で講演

当協議会事務局がある綾部市で世界連邦日本国会委員会の事務局長である塩浜修氏が2月11日、世界連邦についての講演を行いました。綾部世



表彰式に参加した児童・生徒ら

界連邦運動協会(鹿子木旦夫会長)が主催する「市民学習会」において「世界連邦を本当につくろう」と題した講演には世界連邦運動の関係者など約50人が参加しました。内容を一部紹介します。

塩浜氏は初めに、世界連邦の現状や課題を分かりやすく説明。「まず、各国の上に世界レベルのシステムを作らなければならぬ。それが一番の根本であり、世界連邦の運動である。」と話しました。また、究極の目標でもある世界連邦を創るために「世界が一つになるためには、ほかの宗教へ

の理解、さまざまな民族と共生することの大切さ、人間以外にも自然と調和すること心が世界連邦を実現することにつながる。」と締めくくりました。



綾部市で講演した塩浜氏

世界連邦日本大会 今秋大阪で開催

当協議会などで構成する世界連邦推進日本協議会(海部俊樹会長)主催の第33回日本大会が前回の綾部市以来2年ぶりに10月14日(土)、大阪国際会議場(北区)で開催される予定です。世界連邦運動に参加する国会議員や自治体首長らが活動報告を行った後、講演会などを予定しています。